

課題の明確化

☆教育課程の見直し…カリキュラム・マネジメントの視点から

- ・成果・強みと課題の整理、その要因の分析
- ・探究的な見方・考え方を働かせて、自己の生き方を考えていく資質・能力の育成につながっているか。(総合)

ねらいの明確化

・子どもの
実態の捉え

☆9年間の「北方科」での学びを通して、
身に付けさせたい力を明確にする
～めざす子ども像・人間像、9年後の出口の姿～
(コンピテンシーベース:何ができるようになるか)
ふるさと北方の人・物・事に愛着を抱き、
教科の学びを深める北方科

・Society5.0 を生
きていく子どもた
ちに必要となる
力
・主体的・対話的
で深い学びを通
して培われる3
つの資質・能力

教職員が構想
を協議

☆素案・アウトラインをもとに、内容の検討 (コンテンツベース:何を教えるか)

- ・年間指導計画・カリキュラムの作成(※生活科・総合から20時間程度を充当)
- ・現在使用している副読本「マイタウン北方」をベースに検討

・他教科・領域における
本質的な学び、育成す
る資質・能力との関連
(北方科を学びの場とす
ることでより学びが深
まる単元)
・教科に開かれた北方科
・北学園と南学園の学び
の往還
・学年間の接続への考慮
(ex. 5・6年と7年)

教職員の協働による作成
教職員の意識改革
教職員の一体化

・子どもの学びを支える
地域(ふるさと北方)との
関わり
・ゲストティーチャー
・学校支援ボランティア
・関係機関
・こども園・岐阜農林高校
(社会に開かれた
教育課程)

子どもの学びの体系化

☆「北方科」独自教科書の作成
(子どもと教師の学びを支えるコンテンツ)

☆開校後も北方科をめぐって教職員同士がつながりあっていく

(教職員が結びつく場/同僚性の形成の場)

(さらによりよいものへと見直していくプロセスを通して、教職員がつながる)

(子どもとともに学び合い、子どもの資質・能力の育成に力を尽くす教師へ)

～北方科が子どもの学びをつなぎ、地域と学校をつなぎ、教職員同士をつなぐ～